平成 21 年 7 月 22 日

各　位

会　社　名　　株式会社ＬＴＴバイオファーマ
代 表 者 名　　代表取締役社長　鈴木　巖
（コード番号４５６６　東証マザーズ）
問 合 せ 先　　取締役研究開発本部長　新居　泰
（ＴＥＬ　０３－５７３３－７３９１）

元当社子会社が保有する当社株式の異動完了に関するお知らせ

当社の元 100%出資子会社が保有する当社株式の異動が完了いたしましたので、下記の通りにお知らせいたします。

記

１．異動が生じた経緯

2009 年４月 13 日付で、現在破産手続き中の元当社 100%出資子会社である株式会社アスクレピオスの破産管財人が管理する当社株式について、当社と医薬品の研究開発等において協力関係にある北京泰徳製薬有限公司が、当該株式の全てを取得する旨の発表を行っておりましたが、2009 年７月 22 日付で大量保有報告に係る変更報告書が提出されたことにより、株式の異動完了が判明したものです。

尚、2009 年６月 26 日付の発表の通り、北京泰徳製薬有限公司は、元当社の主要株主である筆頭株主が保有しておりました当社株式 23,000 株の全てを取得しており、新たに当社の主要株主である筆頭株主となっております。

２．異動前後における当該株主の所有議決権数（所有株式数）とその議決権総数（発行済株式総数）に対する割合

① 北京泰徳製薬有限公司

	所有議決権数 （所有株式数）	総株主の議決権数に対する割合 （発行済株式総数に対する割合）	大株主順位
異動前	23,000 個 （23,000 株）	17.75% （17.44%）	第１位
異動後	25,320 個 （25,320 株）	19.20% （19.20%）	第１位

② 株式会社アスクレピオス　破産管財人

	所有議決権数 （所有株式数）	総株主の議決権数に対する割合 （発行済株式総数に対する割合）	大株主順位
異動前	０個 （2,320 株）	－% （1.75%）	第８位
異動後	０個 （０株）	－% （－%）	－

※ 異動前の総株主の議決権数に対する割合は、平成 21 年 3 月 31 日（第 7 期末）における議決権総数 129,548 個より算出しております。

※ 異動前後の発行済株式総数に対する割合は、平成 21 年 3 月 31 日(第 7 期末）における発行済株式総数 131,868 株より算出しております。

【ご参考】北京泰徳製薬有限公司について

北京泰徳製薬有限公司は、1995 年５月、中日友好医院（中国北京市）と当社との合弁により設立されました。中国において、当社が開発したＤＤＳ製剤（商品名／凱時（カイシ）：大正製薬パルクス同等品）の製造・販売を手掛け、2004 年には中国国内第 4 位の売上を記録しました。（日本製薬工業協会：アジアビジネスハンドブック 2006 年 3 月より）

また、2006 年に同じく当社が開発したＤＤＳ製剤（商品名／凱紛（カイフェン）：科研製薬ロピオン同等品）を発売するなどで収益を伸ばすとともに、2007 年には、無菌医薬品の製造及び品質管理において、日本国内製造業者と同等の基準を満たし、厚生労働大臣が日本への医薬品輸出を認めた外国製造業者であることを証明する GMP（Good Manufacturing Practice）に認定されております（認定番号：AG10500180)。

承認審査を行う独立行政法人医薬品医療機器総合機構の発表によると、2009 年 3 月 19 日現在、中華人民共和国内において当該認定を受けて活動する医薬品製造業者は、同社を含め僅か 11 社のみとされており、こうした着実な発展を背景に、Forbes（中国版）の 2009 年１月号では、中国の成長企業 200 社の第 90 位に紹介されております。

現在当社では、北京泰徳製薬有限公司の発行済株式 12%を保有しており、PC-SOD 等のパイプラインの研究開発についても協力関係にあるなど、従前より良好なパートナーシップを築いて参りました。

以　上